

2004年7月13日

各 位

カーギル・ダウLLC
三井化学株式会社

ポリ乳酸が食品包装材向け樹脂としてポリオレフィン等衛生協議会にて承認

カーギル・ダウLLC(本社:米国ミネソタ州、社長:キャサリン・ベーター、以下「カーギル・ダウ」)と三井化学株式会社(本社:東京都港区、社長:中西宏幸、以下「三井化学」)は、ポリオレフィン等衛生協議会(以下「ポリ衛協」)に対し、食品包装材向け樹脂としてポリ乳酸の認定を共同で申請していましたが、この度、6月のポリ衛協理事会において承認され、28番目の新規樹脂として登録されました。これにより、ポリ乳酸は食品包装用に使用される他の汎用樹脂と同様の使用ができることとなりました。

ポリ乳酸は、植物由来の再生可能資源を原料とし、化石資源の節約と炭酸ガス排出量の増加抑制に寄与する環境負荷低減素材で、持続可能な経済社会の基盤素材としての役割が期待されています。米国ではFDA(食品医薬品局)、欧州ではEU指令により食品包装用への使用が認められており、ポリ乳酸のフィルムやシートが食品包装容器として既に多くの実績を積んでいます。日本国内では、従来、繊維や非食品用の包装材料として開発が進められて来ましたが、今般のポリ衛協における登録を契機に、各種食品包装の様々な技術開発や用途開発の動きがますます加速され、ポリ乳酸の使用が拡大して行くと期待されます。

以上

【本件に関する問い合わせ先】

カーギル ジャパン
カーギル ダウ事業部
電話:03-3285-0736

三井化学
ポリマー事業開発室 LACEAグループ
電話:03-6253-3909

<注:ポリオレフィン等衛生協議会>

業界全体として、食品包装用途に使用されるプラスチックの衛生性、安全性確保のため、適切なプラスチック材料の使用と普及を図ることを目的に設立された団体。プラスチック原料、添加剤、加工、食品、流通業等の各関係業界の企業が加盟している。

国内では、食品包装用に使用されるプラスチックは、食品衛生法に定められた基準に適合していなければならないが、さらに衛生性・安全性確保のための自主的な仕組みとして、ポリ衛協が基準を定めている。国内で使用されている食品用プラスチックのおよそ3/4程度が、この基準に適合した登録製品となっている。